

各関係機関長 殿

香川県農業試験場病虫害防除所長  
(公印省略)

平成 28 年度病虫害発生予察注意報第 5 号について

このことについて、次のとおり発表したので送付します。

平成 28 年度 病虫害発生予察注意報 第 5 号

1. 病虫害名： **キュウリ炭疽病・べと病**
2. 対象作物： **キュウリ**
3. 発生が予想される地域： **県下全域**
4. 発生程度： **多**
5. 注意報発表の根拠
  - 1) 6 月下旬に実施した露地キュウリの巡回調査では、炭疽病の発生圃場率は 43.8% (平年：8.6%)、発病葉率は 7.2% (平年：3.1%) であり、発生量が多い状況であった (第 1 表)。
  - 2) 上記と同じ調査において、べと病の発生圃場率は 75.0% (平年：50.1%)、発病葉率は 22.9% (平年：8.6%) であり、発生量が多い状況であった (第 2 表)。
  - 3) 向こう 1 か月の気象は降水量が平年並の予報であるが、曇雨天が続くと発病が増加するおそれがある。

第 1 表 露地キュウリにおける炭疽病の発生状況

発生圃場率 (%)			発病葉率 (%)		
年次	6 月下旬	7 月下旬	年次	6 月下旬	7 月下旬
2006	0	71.4	2006		10.2
2007	0	100	2007		4.8
2008	9.1	50.0	2008	0.3	20.9
2009	0	83.3	2009		20.6
2010	6.7	62.5	2010	1.0	23.0
2011	43.8	92.9	2011	2.3	28.3
2012	6.3	66.7	2012	10.0	16.0
2013	0	72.2	2013		32.4
2014	0	41.2	2014		15.7
2015	20.0	100	2015	1.7	40.1
2016	43.8		2016	7.2	
平年値	8.6	74.0	平年値	3.1	21.2

第2表 露地キュウリにおけるべと病の発生状況

発生圃場率(%)			発病葉率(%)		
年次	6月下旬	7月下旬	年次	6月下旬	7月下旬
2006	100	71.4	2006	8.0	17.4
2007	60.0	80.0	2007	1.0	2.0
2008	27.3	30.0	2008	0.8	9.7
2009	75.0	33.3	2009	4.7	8.0
2010	13.3	50.0	2010	30.5	4.4
2011	62.5	42.9	2011	10.8	28.8
2012	62.5	50.0	2012	12.0	14.4
2013	6.7	27.8	2013	1.0	18.4
2014	40.0	52.9	2014	15.7	23.8
2015	53.3	46.7	2015	1.9	12.9
2016	75.0		2016	22.9	
平年値	50.1	48.5	平年値	8.6	14.0

#### 6. 防除対策

- 1) 圃場を見回り、発生を確認した場合は直ちに第3表を参考に薬剤散布する。
- 2) 圃場の排水を良くするとともに、窒素質肥料の過不足がないよう肥培管理する。
- 3) 整枝、誘引等を適切に行うとともに、老化葉や病斑の多い葉を除去し、通風を図る。  
除去した葉は適正に処分する。
- 4) 薬剤散布を行う場合には耐性菌の発生を回避するため、同一系統薬剤の連用は避ける。
- 5) 栽培が終了した発病株は、放置せずに早めに除去し適正に処分する。

第3表 キュウリの炭疽病及びべと病の防除薬剤（香川県主要農作物病害虫・雑草防除指針より抜粋）

対象病害	系統分類	薬剤名	成分名	希釈倍数	使用時期 回数	左記の成分を含む総使用回数	
炭疽病	その他の合成殺菌剤	オーソサイド水和剤80	キャプタン	600～800倍	前/5	5回以内(種子粉衣は1回以内)	
		ベルケート水和剤	イミノクタジアルベシル酸塩	2,000～4,000倍	前/5	イミノクタジアルベシル酸塩またはイミノクタジン酢酸塩:5回以内	
	混合剤	ゲッター水和剤	ジエトフェンカルブ +チオファネートメチル	1,500倍	前/5	ジエトフェンカルブ:5回以内 チオファネートメチル:6回以内 (種子への処理は1回以内、は種後は5回以内)	
		テーク水和剤	シメコナゾール +マンゼブ	600～800倍	前/3	シメコナゾール:3回以内 マンゼブ:3回以内	
		ダイアメリットDF	イミノクタジアルベシル酸塩 +ポリオキシシン	1,000倍	前/2	イミノクタジアルベシル酸塩またはイミノクタジン酢酸塩:5回以内 ポリオキシシン:2回以内	
べと病	有機銅殺菌剤	ヨネボン	ニルフェノールスルホン酸銅	500～800倍	前/4	4回以内	
		ヨネボン水和剤		500倍	前/4		
		サンヨール	D B E D C	500倍	前/4		4回以内
	有機硫黄殺菌剤	ジマンダイセンフロアブル	マンゼブ	500～800倍	前/3	3回以内	
	有機リン系殺菌剤	アリエッティ水和剤	ホセチル	400～800倍	前/3	3回以内	
	ストロビルリン系殺菌剤(QoI剤)	ストロビーフロアブル	クレソキシムメチル	3,000倍	前/3	3回以内	
	その他の合成殺菌剤	フェスティバル水和剤	ジメトモルフ	2,000倍	前/3	3回以内	
		ランマンフロアブル	シアゾファミド	1,000～2,000倍	前/4	4回以内	
		ハチハチ乳剤	トルフェンピラド	1,000倍	前/2	2回以内	
	混合剤	ベネセット水和剤	ベンチアバリカルブイソプロピル +マンゼブ	1,000倍	前/3	ベンチアバリカルブイソプロピル:3回以内 マンゼブ:3回以内	
		カンパネラ水和剤	ベンチアバリカルブイソプロピル +マンゼブ	1,000倍	前/3	ベンチアバリカルブイソプロピル:3回以内 マンゼブ:3回以内	
		プロポーズ顆粒水和剤	ベンチアバリカルブイソプロピル +TPN	1,000～1,500倍	前/3	ベンチアバリカルブイソプロピル:3回以内 TPN:10回以内(土壌灌注は2回以内、散布及びびくん煙及びエアゾル剤の噴射は合計8回以内)	
		ベトファイター顆粒水和剤	ベンチアバリカルブイソプロピル +シモキサニル	2,000～3,000倍	前/3	ベンチアバリカルブイソプロピル:3回以内 シモキサニル:3回以内	
		カーゼートPZ水和剤	シモキサニル +マンゼブ	1,000～1,500倍	前/3	シモキサニル:3回以内 マンゼブ:3回以内	
		ブリザード水和剤	シモキサニル +TPN	1,500～2,000倍	前/3	シモキサニル:3回以内 TPN:10回以内(土壌灌注は2回以内、散布及びびくん煙及びエアゾル剤の噴射は合計8回以内)	
		ホライズンドライフロアブル	シモキサニル +ファモキサドン	2,500倍	前/3	シモキサニル:3回以内 ファモキサドン:3回以内	
		リドミルゴールドMZ	メタラキシルM +マンゼブ	1,000倍	前/3	メタラキシルM:4回以内(種子への処理は1回以内、は種後は3回以内) マンゼブ:3回以内	
		フォリオゴールド	メタラキシルM +TPN	800～1,000倍	前/3	メタラキシルM:4回以内(種子への処理は1回以内、は種後は3回以内) TPN:10回以内(土壌灌注は2回以内、散布及びびくん煙及びエアゾル剤の噴射は合計8回以内)	
		テーク水和剤	シメコナゾール +マンゼブ	600～800倍	前/3	シメコナゾール:3回以内 マンゼブ:3回以内	
		アリエッティC水和剤	キャプタン +ホセチル	400～800倍	前/3	キャプタン:5回以内(種子粉衣は1回以内) ホセチル:3回以内	
		シトラノフロアブル	有機銅 +TPN	1,000～1,200倍	前/5	有機銅:5回以内 TPN:10回以内(土壌灌注は2回以内、散布及びびくん煙及びエアゾル剤の噴射は合計8回以内)	
		カスミンボルドー	カスガマイシン +銅	1,000倍	前/5	カスガマイシン:5回以内 銅:-	
		カッパーシン水和剤	カスガマイシン +銅	1,000倍	前/5	カスガマイシン:5回以内 銅:-	
		フェスティバルC水和剤	ジメトモルフ +銅	600～800倍	前/3	ジメトモルフ:3回以内 銅:-	
		フェスティバルM水和剤	ジメトモルフ +マンゼブ	750～1,000倍	前/3	ジメトモルフ:3回以内 マンゼブ:3回以内	
		炭疽病・べと病	有機銅殺菌剤	キノンドー水和剤40	有機銅	800～1,000倍	前/5
	キノンドーフロアブル			1,200倍		前/5	
ドキリンフロアブル	1,000～1,500倍			前/5			
有機硫黄殺菌剤	ジマンダイセン水和剤		マンゼブ	炭疽:600倍 べと:600～800倍	前/3	3回以内	
	ベンコゼブ水和剤			炭疽:600倍 べと:600～800倍	前/3		
	ベンコゼブフロアブル			500～1,000倍	前/3		
ストロビルリン系殺菌剤(QoI剤)	アミスター20フロアブル		アゾキシストロビン	炭疽:2,000倍 べと:1,500～2,000倍	前/4	4回以内	
その他の合成殺菌剤	ダコニール1000		TPN	1,000倍	前/8	10回以内(土壌灌注は2回以内、散布及びびくん煙及びエアゾル剤の噴射は合計8回以内)	
	アミスターオプティフロアブル		アゾキシストロビン +TPN	1,000倍	前/4	アゾキシストロビン:4回以内 TPN:10回以内(土壌灌注は2回以内、散布及びびくん煙及びエアゾル剤の噴射は合計8回以内)	
	ドーシャスフロアブル		シアゾファミド +TPN	1,000倍	前/4	シアゾファミド:4回以内 TPN:10回以内 (土壌灌注は2回以内、散布及びびくん煙及びエアゾル剤の噴射は合計8回以内)	
	ベフドー水和剤	イミノクタジン酢酸塩 +銅	500倍	前/3	イミノクタジンアルベシル酸塩またはイミノクタジン酢酸塩:5回以内 銅:-		

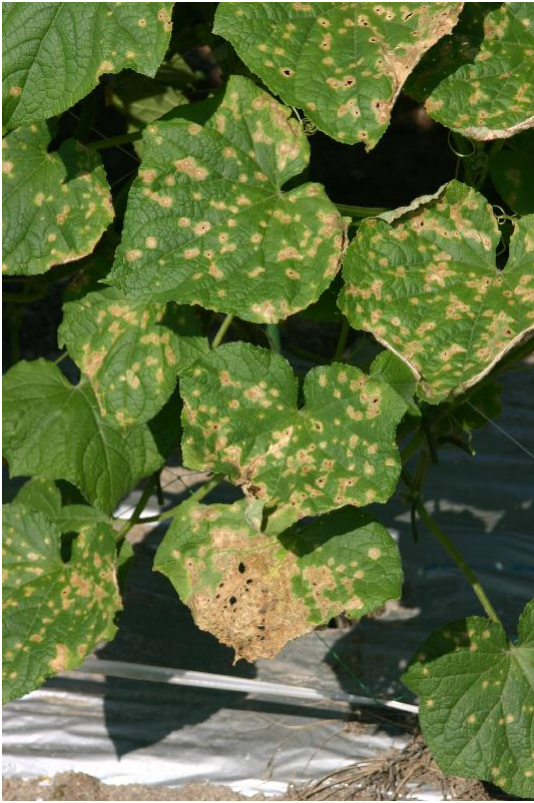


写真1 炭疽病の症状



写真2 炭疽病の葉の病斑

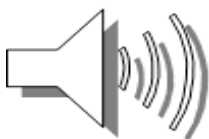


写真3 ベと病の症状



写真4 ベと病の葉の病斑

**農薬はラベルをよく読んで使用しましょう**



6月～8月は、農薬危害防止運動月間です。  
農薬の使用が増える時期ですので、今一度、農薬を適正に  
使用できているか、チェックしましょう。

病害虫防除所インターネットホームページ

URL: <http://www.jpnn.ne.jp/kagawa/>